

【介護保険】要介護認定者の障害者控除について

介護保険の要介護認定を受けている人は、障害者手帳の交付を受けていなくても、市が障害者控除対象者に認定することで、所得税法および地方税法上の障害者控除の対象となります。

対象となる人には「障害者控除対象者認定書」を交付しますので、認定書の交付を希望する場合は、確定申告前に、健康長寿課に申請してください。

控除できる金額は障害者と認定されれば27万円、特別障害者は40万円になります。

対象 その年の12月31日時点で、要介護認定（要介護1から要介護5）を受けている人で、障害者手帳を持っていない人

問合せ
健康長寿課
☎73-8022

お早めに 肝炎ウイルス検査を受けましょう！

肝臓は沈黙の臓器ともいわれ、ウイルスに感染していても症状の出ないことがあります。ウイルス感染を放置すると、肝硬変や肝がんを発症する恐れがあります。疲れやすい、顔色が悪い（黄疸）などの症状が出ると要注意です。

ウイルスに感染しているかどうかは検査でしか分かりません。まだ受けていない人は、早めに肝炎ウイルス検査を受けましょう。ウイルス性肝炎は治療が可能です。

▼肝炎ウイルス検査を受けるには
血液検査で、簡単に分かります。

〈保健所〉
とき 第2・4水曜日
9時～11時

〈市の集団検診〉
とき 平成29年2月5日(日)
8時～10時

対象 坂井健康福祉センター希望者（問診の上、検査を実施します。）

費用 無料
※申し込みは必要ありません。

申込み 健康長寿課
☎73-8023



郷土歴史資料館 だより



冬季テーマ展 「滝瓦展」開催

細呂木地区では、江戸時代より瓦作りが盛んに行われていました。記録によると瓦を焼く煙によって太陽がさげられ、農作物に影響が出るので、瓦焼をやめさせてほしいと農民が訴えるほど、生産されていたことが知られています。

その中でも滝地区は明治時代以降生産量を増やし、北前船によって県外各地にも「越前瓦」の名前で送られ、遠くは北海道の日本海側「寿都町」にも滝瓦が葺かれた家が残されています。

そんな滝瓦ですが、名前は知っていても実際はどのようなものかを知る人は多くありません。本展では現在残っている瓦などを展示し、滝瓦の実態について検証します。

とき 1月11日(水)～5月21日(日)
9時30分～18時
(最終入館17時30分)

ところ 郷土歴史資料館
一般展示室 企画展示ケース

入場料 無料



▲江戸時代の越前瓦

冬季ミニ展示 「あわらと由利公正」開催

福井県出身で、明治時代に活躍した「由利公正」とあわら市に関連のある資料を展示します。

とき 1月11日(水)～5月21日(日)
9時30分～18時
(最終入館17時30分)

ところ 郷土歴史資料館 企画展示ケース

入場料 無料



◀明治26(1893)年シカゴ万博であわら市内のお茶が銅賞を取ったときのメダル

郷土歴史資料館 (金津本陣 IKOSSA 2階)
休館日 月曜日・第四木曜日(祝日の場合はその翌日)
開館時間 9時30分～18時(最終入館17時30分)
問合せ ☎73-5158

平成29・30年度 入札参加資格および物品等納入の申請

市が発注する建設工事および測量業務等や物品納入(事務用品・食料品・リースなど)、その他全ての競争入札(見積もり依頼や随意契約を含む)に参加を希望する場合は「競争入札参加資格審査申請書」または「物品等納入に係る申請書」(50万円未満の小規模取引)を提出し、参加資格者名簿に登録することが必要です。

すでに、申請書(平成27・28年度)を提出していても、平成29・30年度分は、改めて申請が必要ですので、期間内に提出をお願いします。

受付期間 平成29年1月10日(火)～31日(火)
9時～17時
※土、日、祝日を除く。

有効期限 平成29年4月1日(土)～平成31年3月31日(日)

必要書類
【建設工事】
市指定建設工事様式
【測量業務(測量・調査、設計コンサルタント)】
市指定測量等様式
【物品購入等(前記以外の業種)】

申込み
持参または郵送で(期間内必着)。
各入札参加資格審査申請書および様式は、監理課にあるほか、市のホームページからもダウンロードできます。

※市内の事業所や営業所、個人事業者に限り、個人事業所や営業所、個人事業者に限る。

〒919-0692
あわら市市姫三丁目1番1号
あわら市総務部監理課
☎73-8009



福井しあわせ元気国体2018 福井しあわせ元気大会2018

国体 がやってくる!



もっと知ろう! 平成30年福井国体
問合せ 国体推進課 ☎73-8033

あわら温泉カヌーフェスティバルが行われました

10月22日(土)、23日(日)に北瀧湖でカヌーフェスティバルが行われました。カヌーフェスティバルは今年が3年目で、カヌー駅伝とカヌースプリントの2つの競技が行われました。

カヌー駅伝大会は、アイリスブリッジを中心とした1周1.5kmの特設コースで行われ、18チーム160人が出場しました。カヌースプリント大会は、今年から一般の部に加え、ジュニアの部が新設され、地元の小学生12人も元気よくレースに出場しました。

このカヌースプリント大会は、男女別や艇の種類別などの種別種目を区分しないでレースを楽しむ大会で、今年はパラカヌーでリオパラリンピックに出場した瀨立モニカ選手や、ロンドンオリンピックに出場した藤嶋大規選手・松下桃太郎選手が同じ舞台上でレースを競うなど、この大会ならではの競演が見られる魅力あふれる大会となりました。



▲開会式には、はぴりゅうも参加!

東京パラリンピックの金メダル候補です。



▲瀨立モニカ選手(右)



▲世界で活躍する選手も参戦



▲ボロ艇で元気よくこぎ出す小学生たち